若手女性農業者の組織化と経営参画促進

〜組織活動を通して若手女性農業者がPDCAサイクルで経営者として成長〜 鶴田 正一(豊田加茂農林水産事務所農政課

前·豊田加茂農林水産事務所農業改良普及課)

【令和元年6月7日掲載】

【要約】

農業経営の発展のためには、女性農業者が共同経営者として参画することが必要である。 普及課では、孤立しがちな若手女性農業者の組織化を図り、資質向上を図るため、組織 運営方法やセミナー開催について助言をしている。女性農業者自らが目標をもって成長し ていくために、毎年目標を立てさせ、PDCAサイクルに基づき自己研さんできるよう指 導している。

1 はじめに

本県では、男女共同参画社会の実現に向けて、「あいち農山漁村男女共同参画プラン202 0」を策定して推進しており、男女が対等なパートナーとして、それぞれの能力を発揮し、 農業経営の発展や地域社会の活性化にむけて活躍できるよう女性農業者を支援している。

これからの本県農業の発展のためには、若手女性農業者を早期に経営に参画させることが重要である。

しかしながら、子育て真っ最中の女性は農業について勉強する機会が少なく、経営参画 は遅れがちである。

豊田加茂地域では、若手女性農業者がグループを結成し、毎月のセミナー開催や経営参画に向けたPDCAサイクルの実践をしている。お互いが刺激し合い経営者として成長している事例として紹介する。

2 女性農業者組織に対する普及活動

(1) 女性農業者自らが立ち上げた学びの場

農業改良普及課(以下、「普及課」)は当初、女性農業者のスキルアップのための講義や演習の研修会を開催していた。次第に参加する女性たちが自発的に情報交換をするようになり、自ら企画・運営するグループ作りの動きが出てきた。

グループ結成にあたり、普及課は、自主組織で活動すると①自分たちの要望によりかなった内容の勉強会ができる②自身の経営への関わり方など、普段話しにくいことも情報交換し、高め合える仲間ができる③視察や外部組織との交流がしやすくなり、人脈を広げるような活動ができる、などの利点を説明し、具体的な活動のイメージを広げていった。また、グループ発足に向けて、いずれの参加者とも人間関係が良好で発言力のある女性をリーダーに位置づけ、自分たちで組織の目的や活動内容等をまとめるよう誘導した。

こうして女性農業者自らが平成24年に学びの場として「あぐりmama (現在の会員18名、概ね45歳以下)」を立ち上げた。

(2) 毎月のセミナーで能力アップ

会員たちが学びたい内容を話し合ったところ、経営作目や経営体での役割が異なるため、共通した課題が少なく、関心は多岐にわたっていた。そこで、毎月セミナーを開催し、幅広い内容を扱い、興味のあるセミナーを受講すればよいことにした。この結果、「あぐりmama」は、農業についての幅広い知識や自身の経営に関係が深い技術を習得できる場となった。

普及課は、セミナーの企画方法や内容を助言するとともに、ベビーシッター付きでのセミナーを提案し、会員が参加しやすいよう配慮した。

(3) PDCAサイクルで資質向上

普及課は、会員たちの資質向上をはかるため、毎年目標を立てる機会を作り、PD CAサイクルに基づいて自己研さんするよう助言した。会員が企画・財務・販売・労務・生産からなる普及課が定めた「経営参画チェック表」を毎年記入し、自らの成長を振り返ることで新たな気付きを得られるようにした。

▼計画 (Plan)

会員は年度初めに「目標管理シート」により一年の目標を他の会員からのアドバイス等を得ながら設定する。

▼実行 (Do)

会員の要望に基づいて座学・農産物加工の実習・先進農場視察・情報交換会と多岐にわたるセミナーを毎月企画し、それぞれの会員が希望のセミナーを選んで参加する。 ▼評価 (Check)・改善(Act)

年度末に、「経営参画チェック表」で現在の経営参画の状況を自ら評価し、また目標達成度を確認する。チェック表は新たな目標設定にも活用する。毎年同じシートを活用することで、自身のレベルアップ状況を経年変化で確認できる。

3 まとめ

活動を通して自らの目標を達成した会員は、5年間で延べ27名である。財務・生産・販売の順に多い。何億円もの投資を行い観光農園の経営基盤を充実したり、仲間とともに農産物加工の工房を立ち上げたりと、「あぐりmama」で培った知識・技術を経営に活かす事例もでている。点在していた女性農業者は学びと情報交換できる場を得て、経営者として輝き、いきいきと活動している。

①計画(Plan) 目標管理シートの作成 (目標設定)

②実行(Do)

セミナーでの知識や技術の習得 目標達成に向けた取組を実践 (セミナーの開催)

- ・研修会への参加誘導
- ・参加者から次年度の研修 内容の要望を募る

化で確認させる

・経営管理能力のレベルアップ状況を経年変



経営参画実践状況の評価・改善確認 (経営参画チェック表で確認)

Copyright (C) 2019, Aichi Prefecture. All Rights Reserved.